

2024年5月23日

[配信枚数2枚]

発信元 滋賀大学広報課

報道関係者 各位

データサイエンス学部 総合型選抜に女子枠新設 —多面的な観点からデータを分析・評価できるデータサイエンティストに—

滋賀大学データサイエンス学部では、令和7年度入学者選抜（令和6年度実施）から女子枠を新設します。募集人員等は以下の通りです。

記

総合型選抜Iで入学定員を30名から40名に増やし、既存の選抜方法に加えて「女子枠」を新設します。

募集区分		定員	
総合型選抜I	一般枠	20	40
	女子枠（新設）	20	

[新設の背景]

滋賀大学は、他大学に先駆けて日本初のデータサイエンス学部を設置したデータサイエンス教育のトップランナーであり、令和5年度には「大学・高専機能強化支援事業」（支援2）のハイレベル枠に採択されました。その事業の計画の一つとして、令和7年度データサイエンス学部の入学者定員を100名から150名へ増員し、その中に女子枠を新設する予定です。

本学部は文系理系問わず、「文理融合の価値創造の実践」を通して、多くの成功体験を積むことができるデータサイエンス教育を実施しています。現在、本学部での女性比率は20%程度に留まる一方、学部創設以降、卒業生をこれまで約400名輩出しており、女性によるベンチャー企業が立ち上がる等、男女ともにSociety5.0社会に対応する専門職であり、まだ日本では不足している職業として注目されるデータサイエンティストとして活躍しています。

今回新設する女子枠は、今後さらに複雑化するダイバーシティ社会において活躍が期待される、女性データサイエンティストをより多く社会に輩出することを目指します。

また今後、卒業生の社会での活躍状況等について卒業生本人が紹介するオンラインセミナーを設ける予定です。



滋賀大学 彦根キャンパス

[竹村彰通学長コメント]

データサイエンスは社会のあらゆる分野において活用され、今後その重要性がますます広がっていくと考えられます。データを活用し、新たな価値を見出すためには理系的要素だけでなく文系的要素も必要です。データサイエンスは文理融合の分野であり、他の分野より女性の感性や能力を十分に活かすことができます。

国内最高水準の本格的なデータサイエンティストを養成する滋賀大学データサイエンス学部では、多様性とそれぞれの個性を活かし、社会から必要とされている実践的なデータサイエンティストを輩出していきます。



竹村彰通 学長

[選抜方法等について]

滋賀大学データサイエンス学部では入学定員の増員に伴い、総合型選抜 I での女子枠の新設に加え、一般選抜（後期日程）では、従来の個別学力検査実施型に加え、面接型を新設します。詳しくは、大学ホームページの入試情報「令和 7 年度（2025 年度）滋賀大学データサイエンス学部入学者選抜方法の変更について（予告）」（下記 QR コード）をご確認ください。

なお、今回発表する内容は、令和 6 年 5 月現在の内容であり、今後変更する場合があります。

入試に関する情報は、今後発表する令和 7 年度入学者選抜要項、令和 7 年度総合型選抜学生募集要項及び令和 7 年度一般選抜学生募集要項を必ず確認願います。



▶HP 入試情報

●本件に関するお問い合わせ

滋賀大学入試課 担当：北村・清水

TEL：0749-27-1023 E-mail：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp